



▲サイン会に当選した来場者は、浅野さんと談笑を交えながら交流を深めました

全国各地からファンが古河に 浅野恭司フェス

9月22日、はなももプラザで古河大使で人気アニメーターである浅野恭司さんの「浅野恭司フェス」を開催し、ライブドローイングやサイン会、トークショー、グッズ販売などを行いました。当日は全国各地から約500人が来場し、早朝からサイン会やトークショーの整理券配布を待つ長蛇の列ができました。抽選に当たり、浅野さんと交流した来場者からは喜びの声が上がっていました。



▲老人会の役員として活動していたころの思い出を元気に話してくれた田村さん(右)と針谷市長(左)

いつまでもお元気で 敬老祝い金を贈呈

9月16日は敬老の日です。市では、長寿を祝って77歳・88歳・100歳以上の約2,200人(100歳以上は69人)に敬老祝い金を贈呈しました。9月17日に針谷市長が100歳到達者と最高年齢者を訪問。今年100歳を迎えた田村忠男さん(東二丁目)は「93歳までゲートボールを続けていたことや、家族や友達と毎日楽しくおしゃべりすることが長生きの秘訣です」と笑顔で話してくれました。

進む多文化共生の手助けを 国際ロータリー第2820地区 中村澄夫ガバナー公式訪問式典

9月13日、カナルヒルズで国際ロータリー第2820地区中村澄夫ガバナー公式訪問式典が開催されました。

市内在住の外国人が直近5年間で1,234人増加し、国際化が急速に進む中、多文化共生の手助けとして古河ロータリークラブから外国人向けの日本語教材や音声翻訳機などの寄付を受けました。



▲針谷市長と古河市国際交流協会とロータリークラブの役員

他人には負けない米作りを 令和元年度 地域づくり講演会



▲「下町ロケット」の取材にも協力した講師の田中さん

10月5日、中央公民館で地域づくり講演会が開催されました。栃木市新波地区で「NIPPA米」という新しい米作りに挑戦している田中潔氏。

自分が住んでいる地域の歴史や伝統を取り入れ、農業を魅力的で稼げる仕事にするブランディング戦略についての講演に、参加した220人は熱心に聞き入っていました。

大会の運営も生徒自身で 第11回 古河市中学生の主張大会

10月3日、ユースセンター総和で古河市中学生の主張大会を開催しました。

市内中学校の代表生徒10人は日常生活や社会の動向、将来の古河市や日本の在り方など、日頃感じていることや考えを発表。来場者は、中学生たちの真剣で熱い思いの伝わる主張に聞き入っていました。



▲各学校の代表者と大会運営に携わった生徒たち

ずっと健康で暮らすために 市民公開講座～がんになりに くい食事はあるの?～



▲がん予防について話す、関西電力病院院長の千葉勉さん

9月22日、スペースU古河で市民公開講座を開催しました。

がんを予防するためには、子どものころから野菜・果物・魚介などをバランスよく何でも食べることが必要である。また、禁煙や節酒、感染予防に気をつけることなども大切であるという話がありました。